## 伊賀市教育研究センター

令和6年8月29日 第 449 号

## 研修三ュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

## 研修講座 特別支援教育【4回連続講座】③ 「特別支援学級における自立活動について」

【講師】 元東京都日野市教育委員会 特別支援教育総合コーディネーター 宮崎 芳子 先生

8月5日(月)、講師に東京都日野市教育委員会特別支援教育総合コーディネーターの宮崎芳子先生をお迎えし、研修講座「特別支援教育【4回連続講座】③」を実施しました。

初めに、グループになって自校の「特別支援学級の自立活動」について交流を行いました。交流後は、各校の取組についてビジョントレーニング、



ソーシャルスキルトレーニング、集団活動などを行っていることが発表されました。また、個々の課題に合っているのか、課題に合わせて計画的に行えているかという課題点も発表されました。

これらの発表を受けて、宮崎先生より「特別支援学級における自立活動について」ご講義いただきました。まず、自立活動は一人一人の児童・生徒の実態に対応した主体的な活動であること、障害による困難を改善・克服するための方法を習得、活用することが目的となることをご指導いただきました。そのためにも、個々の児童・生徒の実態把握に基づき、指導すべき課題を明確にし、個別の指導計画を作成すること、子どもとの対話による目標設定、目標の視覚化、手立ての工夫を講じることにより、児童・生徒が学び方の方法(自助力や環境調整力)を習得することが大切であることを学びま

した。

最後に、通級指導における自立活動についてもお話いただき、通級指導で学習したことが通常学級においても活かされていることが大切であり、担任間で、随時、学習の進捗状況について情報交換を行うなど連携が必要であること、通常学級における授業と環境のユニバーサルデザインが大切であることを学びました。

## アンケートより【一部抜粋】

・自立活動の基本的な考え方を詳しく教えていただき、よく分かりました。これまで自分なりにこの時間は、子どものこんな力につなげたいと思って色々とやってきましたが、子ども自身がどれだけ自覚して、こんな自分になりたいと願いを持って取り組めていたかという点では課題点であると感じました。その点をもっと明確に子どもと一緒に同じ目標を持って、活動していきたいと思います。(小)

・グループで交流することで、参考になることがいくつもあって、とても意義のある時間となりました。特に中学校なので、進路を見据えて校内での情報共有やどんな風に見通しを持って、進めていくかなど意見を聞くことができて良かったです。(中)